

# 鞍手町に住んでいます。

## ふくおかトライアルワーキングステイ

首都圏をはじめとする県外からの移住希望者に、福岡県内の市町村で、一定期間お試し居住をしながら仕事を体験してもらう「ふくおかトライアルワーキングステイ事業」。



10月15日から、一組の夫妻が鞍手町で移住体験をされています。移住者から見た「くらた」の魅力とは。



### 都会より自然に囲まれた田舎で生活がしてみたい

10月15日から12月24日までの間、鞍手町で移住体験をされている播野巧磨さん、景子さん夫妻。プロフィールからもうかがえるのとおり、これまでは、都会での多忙な日々を過ごしてこられました。

「慌ただしい生活から少し離れて、自然に囲まれた田舎でスローライフを満喫してみたい。」そんな思いから、この体験プログラムへの参加を決められたそうです。

### 地域の皆さんに支えられ充実の移住体験の日々

「都会では、ご近所付き合いがほとんどなく、隣に住んでいる人の顔や名前を知らないのも当たり前。ですから、鞍手町での移住体験が決まったときには、うまくご近所付き合いができるかどうか、とても不安に感じていました。」  
とは巧磨さんの言葉。しかし、その不安はすぐに消え去ったようです。

「鞍手町に来た最初の日から、地域の皆さんが温かく迎え入れてくれました。家庭菜園で育てられた野菜などをおすそ分けしてもらいうことも多く、野菜を買う必要がないほど。」  
都会では考えられなかった体験に、景子さんはとても驚かれたそうです。

### 1か月の暮らしで見えた厳しさと豊かさ

「都会と比べれば確実に不便です。」

ドキッとさせられる言葉が播野さんの居住体験ブログにつづられていました。しかし、この言葉には続きがあります。

「昔から変わらない事が不便に感じてしまつたら、この豊かさにはおそらく気づけないなあ：なんて思つてみたり。」

クレジットカードが使えるお店が少ないこと、雑草に悩まされること、不慣れた田舎生活で直面するいろいろなこと。不便だからと切り捨ててしまえば、そこにある豊かさも同時に失ってしまうのではないのでしょうか。

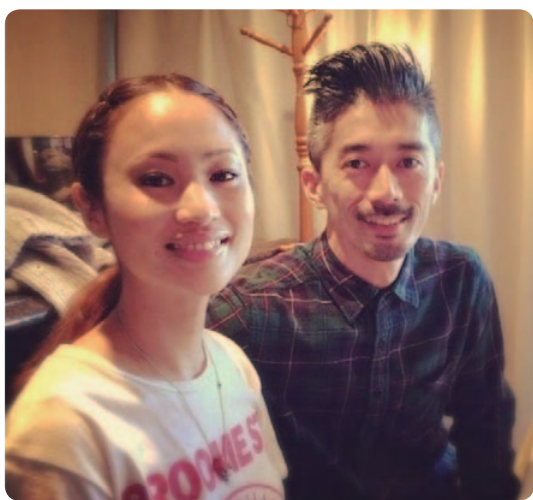
「移住体験の日々を通して、単なる憧れだった『自然に囲まれた田舎での生活』は少しずつ現実となり、様々な実体験から日々

学ばせていただいています。厳しさと豊かさに恵まれた生活から育てられる『人間力』は、合理化ばかりが進む都会生活しか知らない私たちにとって、とても大きく貴重な発見です。そして、それを助けてくださる、ここに住む温かい方々それぞれ

の『力』と一緒に支え合いながら過ごす毎日。これこそが鞍手の魅力だと感じています。」

移住者の視点から語られる「くらた」の魅力は、この町で暮らしている人たちにとっては当たり前のことなのかもしれない。それでも播野さんはこう言われます。

「この町で暮らしている皆さんには、もっと自信を持ってほしいんです。田舎生活に憧れて都会から移住する人にとって、鞍手町は厳しくもあり豊かでもある、そのバランスがとても良いんです。」



### 居住体験者

たぐま 播野 巧磨 さん  
けいこ 播野 景子 さん

#### プロフィール

<巧磨さん>インターナショナルスクール卒業後、カリフォルニア州立大学でグラフィックデザインを学ぶ。その後東京へ戻り、デザイン、音楽、ファッションに国内外で活動。2008年より、景子さんと共にニューヨークへ拠点を移し、ホテル・飲食店の開発マネジメントを行う会社で、接客から経営、開発を学ぶ。

<景子さん>大学卒業後、青山のペーグルカフェでマネージャーとして働き、接客や店舗経営を経験。また渡米前からやっていたヨガを突き詰め、全米アライアンス(ヨガインストラクター資格)の取得や栄養学も学ぶ。

居住体験  
ブログ  
発信中!



播野さんが日々更新されている居住体験ブログでは、たくさんの体験記や写真を見ることができます。

<http://ijuu-teijuu.pref.fukuoka.lg.jp/blogs/entries/index/3>



福がお〜か〜くらし

検索